

# プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年3月18日

号機

6

件名

非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて（区分：Ⅲ）

## 【事象の発生】

2022年3月17日、原子炉建屋1階（非管理区域）において、非常用ディーゼル発電機（A）の24時間連続運転試験を実施していたところ、17時15分頃に非常用ディーゼル発電機（A）の軸受部から潤滑油が漏れいしていることを確認したことから、非常用ディーゼル発電機（A）を停止するとともに、一般回線にて公設消防へ連絡しました。

潤滑油の漏れいは停止しており、漏れ出た潤滑油の量は、1リットル未満と推定しております。また、漏れ出た潤滑油については、拭き取りを行うとともに、中和剤での処理を行いました。

なお、漏れいした潤滑油の外部等への流出はなく、環境への影響はありません。

今後、潤滑油が漏れいした原因調査を実施し、再発防止対策を講じてまいります。

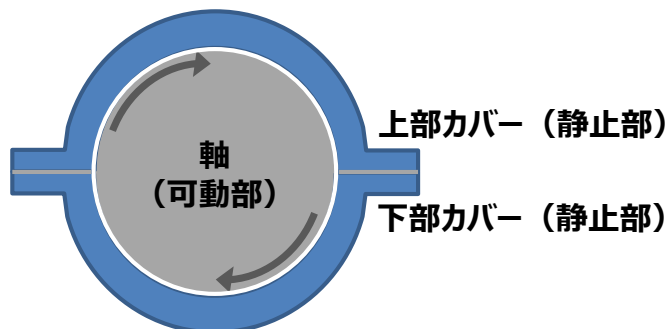
調査を進める中で、非常用ディーゼル発電機内部の潤滑油の漏出を抑制するために軸受部に設置されている部品（Oリング）が切れていることを確認しました。引き続き原因調査に取り組むとともに、切れたOリングについては今後、交換を実施します。

（2022年4月14日までにお知らせ済み）

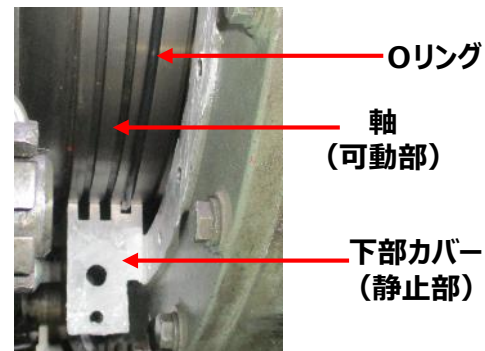
## 【対応状況】

3月26日にOリングの交換を実施し、3月28日にOリング交換後の復旧状況の確認テストとして、運転を実施したところ、開始直後に白いモヤのようなものと、軸封部のカバーの合わせ面から潤滑油の漏れいを確認したことから、運転を停止しました。また、3月31日に実施した分解点検時には、軸封部の可動部に金属同士が接触したような痕（摺動痕）とOリングの破断も確認しています。

4月22日にOリングの交換を実施し、4月25日に再度、確認テストを実施しました。その際も、軸封部のカバーの合わせ面から潤滑油の漏れいを確認したことから、翌日（4月26日）、漏れい箇所に、シール材でのコーキング処理（隙間を埋める処理）を実施しています。その後、4月27日にも確認テストを実施しましたが、その際も、潤滑油の僅かな漏れいを確認しています。引き続き原因調査に取り組んでまいります。

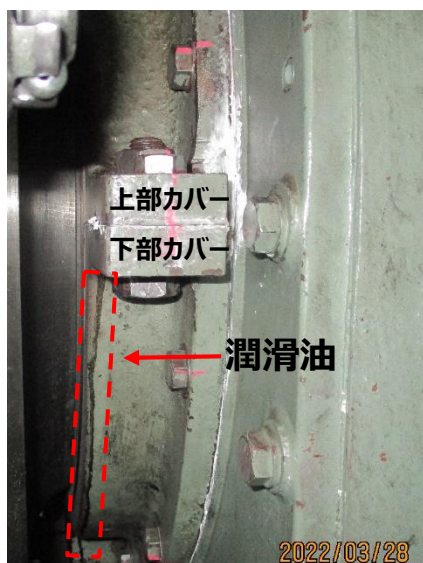
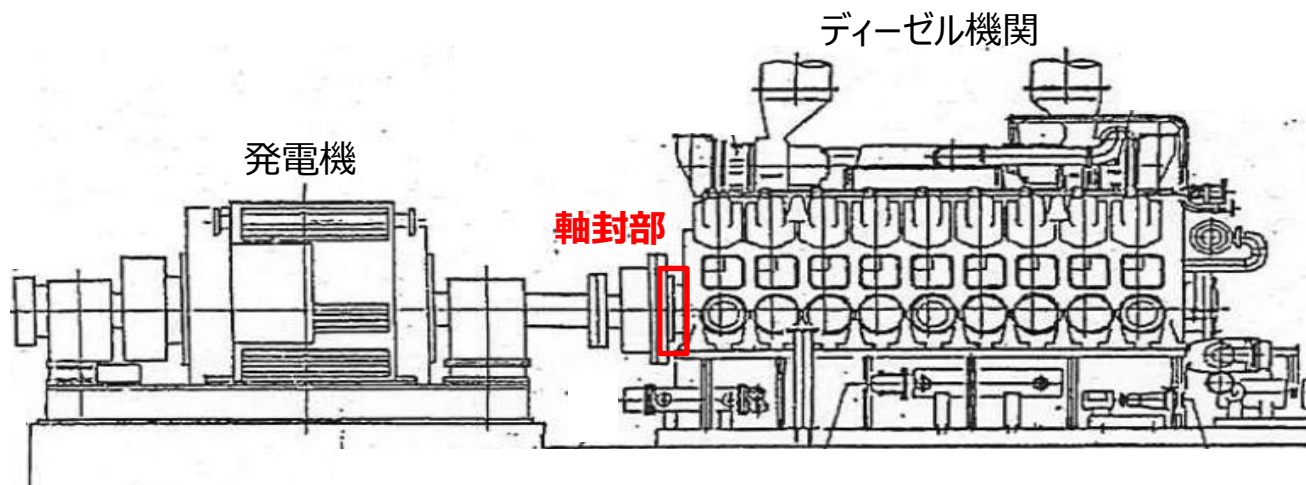


軸封部イメージ（断面図）



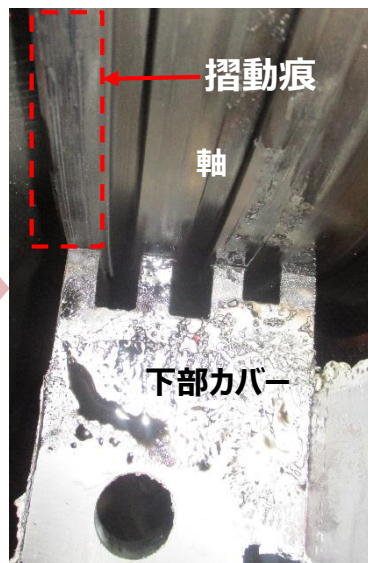
軸封部（上部カバー開放時）

# (参考) 6号機非常用ディーゼル発電機 (A) 油漏れ発生状況



3/28 油漏れ確認時

上部  
カバー開放



3/31 点検時 (上部カバー開放時)



4/25 油漏れ確認時

## 【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

---

号機	—	件名	保安規定対象記録の未保存について（区分：Ⅲ）	発生日	2022年2月15日
号機	5	件名	取水口エリアにおけるクレーンのワイヤー切れについて（区分：Ⅲ）	発生日	2022年3月23日

## 不適合情報

2022年4月14日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	4号機	取水口除塵装置洗浄ポンプの運転切替(A)(B)→(B)(C)後の確認時、洗浄ポンプ(A)が逆回転していることを確認した。洗浄ポンプ(A)の安全処置を実施。調査の結果、洗浄ポンプ(A)ストレーナーの逆止弁固着と推定。当該逆止弁を点検・修理。	2022/04/08	
2	6号機	取水口F門隔壁海側のコンクリートが剥落し、鉄筋が露出していることを確認した。当該箇所を修理。	2022/03/28	
3	6号機	電解鉄イオン注入系海水ストレーナー計装配管が、隔離状態にもかかわらず圧力指示値が上昇していることを確認した。調査の結果、配管に詰まりが発生し、外気温度の上昇により内圧が上昇したものと推定。当該圧力計を点検および検出配管を洗浄。	2022/04/11	
4	その他	副防護本部車両ゲート脇に業務車を駐車した際、運転手が異臭を確認した。周囲を確認したところ、駐車中の車両左側後部に燃料(ガソリン)の滴下を確認した。滴下箇所に吸着マットを設置。業務車の移動経路を確認し、油漏れ跡がないことを確認済み。当該業務車の燃料配管を修理。	2022/04/09	

## 不適合情報

2022年4月15日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. G I グレード      0件

2. G II グレード      0件

3. G III グレード      3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	7号機	タービン建屋地下2階(非管理区域)復水器エリア集水ピットから、排水ポンプの運転切り替え(自動→手動)を行っても排水できないことを確認した。排水ポンプを停止。当該排水ポンプを点検・修理。	2022/04/12	
2	7号機	主タービン油移送ポンプが停止中にもかかわらず、吐出圧力が指示されていることを確認した。調査の結果、圧力計の固着と推定。当該圧力計を交換。	2022/04/13	
3	その他	荒浜側補助ボイラー(5A)に循環水量低の警報が発生し、停止したことを確認した。循環ポンプに異常が見られないことから、循環水量計の不具合と推定。当該循環水量計を点検・修理。	2022/04/09	

## 不適合情報

2022年4月18日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

- 1. G I グレード      0件
- 2. G II グレード     0件
- 3. G III グレード    2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	原子炉建屋管理区域の北西階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/04/13	
2	その他	水処理設備の排水処理装置中間ポンプ出口流量計、逆洗ポンプ出口流量計の指示値が下降傾向であることを確認した。調査の結果、流量計の詰まりと推定。また、活性炭ろ過器入口流量計内部に、汚泥による汚れを確認した。当該流量計を点検・清掃および配管を洗浄。	2022/04/08	

## 不適合情報

2022年4月19日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	サービス建屋膨脹水槽水位計が汚損し、水位低下時に水位を確認できないことを確認した。当該水位計を清掃。	2022/04/12	
2	2号機	原子炉建屋天井クレーン点検時、クレーン桁内入口扉の窓ガラスが破損していることを確認した。破損していたガラスを回収。当該窓ガラスを交換。	2022/04/14	
3	3号機	非常用ディーゼル発電機(B)の手動起動試験において、解列後無負荷運転での状態確認を行ったところ、クランク室ドア(No. 9)ゴムパッキン部に微量の油滲みを確認した。発電機を停止したところ、油滲みも停止。クランク室ドアパッキンを交換。なお、非常用ディーゼル発電機の運転・機能に影響なし。	2022/04/14	
4	4号機	取水口除塵装置の起動確認において、トラベリングスクリーン(E)洗浄水配管末端フランジ部に、微量な海水漏れを確認した。当該フランジ部を点検・修理。	2022/04/12	
5	5号機	原子炉建屋付属棟管理区域の北東階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/04/13	
6	その他	気象観測局舎入室時にドアセンサーを解除したところ、作業中ランプが点灯しないことを確認した。調査の結果、センサーの接触不良と推定。当該センサーを修理。	2022/04/14	
7	その他	6/7号機中央制御室において、放射性廃棄物処理設備制御監視用画面を起動したところ、表示されないことを確認した。調査の結果、制御基板の異常と推定。当該基板を交換。なお、画面データは放射性廃棄物処理設備中央制御室で確認可能なため、設備の監視に影響なし。	2022/04/14	

## 不適合情報

2022年4月20日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	原子炉建屋管理区域の北東階段室(1箇所)、南東階段室(2箇所)およびタービン建屋管理区域の北東階段室(3箇所)、南東階段室(2箇所)、吸排気機器室配管スペース(3箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/04/06	
2	3号機	タービン建屋中2階(非管理区域)換気空調補機常用冷却水系冷凍機(B)北西天井部に、雨水の浸入および床面に水溜まりを確認した。水溜まりは側溝に流入し排水。機器への被水なし。当該箇所を点検・修理。	2022/04/15	
3	7号機	原子炉建屋管理区域の南東階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/04/17	



## 不適合情報

2022年4月21日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niiigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	3号機	中央制御室空調設備点検において、通常外気取入ダクト内に点検口の閉止板が混入していたことを確認した。当該ダクトは2019年5月に交換しており、その作業で混入させたものと推定。閉止板を回収し、ダクト内面に損傷がないことを確認して空調を復旧。当該事象の原因を調査し、再発防止策を検討・実施。なお、中央制御室の空調設備の損傷およびダンパの開閉に干渉がなかったことから、空調機能に影響のないことを確認済み。	2022/04/18	—

3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	軽油タンク(A)(B)基礎コンクリート部のコーティング材に、膨れを確認した。当該箇所を点検・修理。	2022/04/15	
2	1号機	放射性廃棄物処理設備の点検において、除染廃液系排水槽液位計(No. 1、No. 2)スイッチが、接断差(動作値と復帰値の差)の許容範囲から外れて動作していることを確認した。当該液位計スイッチを交換。	2022/04/15	
3	5号機	原子炉補機冷却海水系ポンプ(B)(D)点検後の復旧作業において、原子炉補機冷却系熱交換器海水ストレーナー(D)の差圧計に、指示値が上限値を超えていることを確認した。調査の結果、ストレーナーの詰まりと推定。当該ストレーナーを点検・清掃。	2022/04/18	
4	6号機	タービン建屋中1階(非管理区域)6号機~5号機間アクセス通路コンクリート壁面の亀裂部に、雨水染み出しおよび床面に水溜まり(約80cc)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2022/04/16	

## 不適合情報

2022年4月22日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	6号機	原子炉区域・タービン区域送風機の吸込ダクト部に、腐食および貫通孔を確認した。貫通孔を養生テープで仮補修済み。当該ダクトを交換。	2022/04/18	
2	6号機	原子炉建屋管理区域の南東階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。調査の結果、誘導灯点検用ひもが引かれてバッテリーで点灯する状態となっており、バッテリーの容量が尽きたことが原因と判明。点検用ひもを正常位置に戻し復旧済み。	2022/04/20	
3	7号機	中央制御室において、計算機システム機器軽故障の警報の発生を確認した。調査の結果、光伝送インターフェース基板内のメモリに偶発的な異常が発生し、マルチロードブロックモニタ伝送回線(1系)に異常が発生したものと推定。当該基板を初期化し復旧済み。異常の発生したメモリについて、ロット不良等の情報の有無を調査。なお、2系に異常はなく伝送に問題なし。	2022/04/18	
4	7号機	原子炉建屋大物搬入建屋(管理区域)で作業に従事していた協力企業作業員のγ・β線用警報付ポケット線量計が鳴動したことを確認した。直ちに退域し線量計を確認したところ、γ線0.01mSvが記録されていることを確認した。同一作業をしていた他の作業員の線量計には記録はなく、また、作業場所の線量当量率は0.001mSv/h未満であることから線量計の誤計測と判断。当該線量計の使用を禁止し、作業員の線量評価を実施。	2022/04/19	

## 不適合情報

2022年4月25日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	タービン建屋屋上東側のタービン潤滑油系大気放出管に、開口部の金網破損および配管内部の腐食を確認した。当該放出管の開口部を仮閉止。当該配管を修理。	2022/04/20	
2	6号機	直流125V蓄電池の定例点検において、6C蓄電池(60セルのうち2セル)の端子部のボルトに、腐食を確認した。当該ボルトを交換。なお、蓄電池の電圧値に変動はなく、ボルトが端子部から外れることがないため、機能に影響なし。	2022/04/19	
3	6号機	直流125V蓄電池の定例点検において、6C蓄電池(60セルのうち19セル)の端子部下部および上蓋に、ひび割れを確認した。当該蓄電池を修理。なお、蓄電池の電圧値に変動はなく、ひびから電解液の漏れもないため、機能に影響なし。	2022/04/19	

## 不適合情報

2022年4月26日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	サービス建屋管理区域の西階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/04/07	
2	5号機	大湊側洗濯設備洗濯廃液系ろ過機(A)の活性炭スラッジ出口選択弁に、動作不良を確認した。当該弁を点検・修理。	2022/04/19	
3	6号機	廃棄物処理建屋非管理区域の南階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/04/16	
4	6号機	換気空調補機常用冷却水系冷凍機の運転切り替え時、冷凍機(A)の凝縮器が圧力変動を繰り返し、警報設定値に近づいたことから手動停止させた。調査の結果、凝縮器の冷媒に空気が混入したことによるものと推定。当該凝縮器を点検・修理。なお、冷凍機(B)に異常はなく、空調機能に影響なし。	2022/04/20	
5	その他	2022年3月に標準試料が破損し使用禁止にしていた蛍光X線分析装置について、予備試料を入手できたため装置の健全性確認を行ったところ、真空不良のエラーが発生し測定できないことを確認した。当該装置の使用禁止を継続し修理。なお、他の分析装置で測定が可能のため、分析業務に影響なし。	2022/04/21	

## 不適合情報

2022年4月27日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	取水口除塵装置(回転式除塵装置、洗浄水配管フランジ、洗浄水ポンプ支持金物、洗浄水ポンプケーシング)に、腐食を確認した。当該設備を点検・修理。	2022/04/22	
2	5号機	原子炉補機冷却系熱交換器(D)海水側隔離弁に、シートバスを確認した。当該弁を点検・修理。	2022/04/20	
3	7号機	タービン建屋非管理区域の南側階段室(1箇所)の誘導灯が、点灯・消灯を繰り返していることを確認した。調査の結果、照明器具(安定器・バッテリー)の不具合と推定。当該照明器具を交換。	2022/04/24	

## 不適合情報

2022年4月28日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	所内蒸気系配管凝縮水排水装置に、動作不良を確認した。当該排水装置を点検・修理。	2022/04/21	
2	1号機	No. 4ガスタービン発電機の制御車両に、エンジンオイルの滴下を確認した。調査の結果、オイルフィルターからの滴下と判明。拭き取りおよび中和剤による処理を実施済み。吸着マットおよび受けパン設置済み。ガスタービン発電機の運転に車両のエンジンオイルは不要なため、油抜きを実施。なお、滴下していた油の構外(港湾)への流出がないことを確認済み。	2022/04/26	
3	2号機	循環水ポンプ吐出弁ピット内のケーブルトレイに、腐食を確認した。当該ケーブルトレイを点検・修理。	2022/04/23	
4	4号機	循環水ポンプ吐出弁ピット内のケーブルトレイに、腐食を確認した。当該ケーブルトレイを点検・修理。	2022/04/25	
5	6号機	低電導度廃液系脱塩塔(A)出口ストレーナ差圧スイッチの指示値が上限値を超えていることを確認した。当該指示計を点検・校正。	2022/04/25	
6	7号機	消火系の耐圧試験において、屋外消火栓設備テスト弁元弁にシートバスを確認した。当該元弁を点検・修理。	2022/04/22	
7	その他	大湊側焼却設備の運転中、異常を示す警報の発生を確認した。調査の結果、トリチウムサンプリング装置A系ポンプヒーターの温度が低下し、運転が停止したことによるものと判明。当該ポンプヒーターを点検・修理。なお、B系に異常はなく、設備の運転に問題なし。	2022/04/23	

## 不適合情報

2022年5月9日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	中央制御室において、プロセス計算機に異常を示す警報の発生を確認した。調査の結果、自動化サーバ2系監視バス1系/2系通信障害および自動化サーバ2オンライン正常OFFにより、自動化サーバ2系が停止したものと判明。現在プラントは停止中で自動化制御は不要なため、当該サーバを準備でき次第交換。	2022/04/25	
2	1号機	中央制御室において、プロセス計算機に異常を示す警報の発生を確認した。調査の結果、信号入出力装置3制御基板の不良と推定。当該制御基板を交換。	2022/04/25	
3	3号機	取水口除塵装置用門型クレーンの年次点検において、主巻フック付属の主巻非常停止用リミットスイッチストライカー(スイッチレバーを作動させる部品)に腐食を確認した。当該ストライカーを交換。	2022/04/25	
4	4号機	主変圧器CVケーブル(電力ケーブル、黒相)バルブパネル扉の止め金に、折損を確認した。扉をロープで固縛し仮固定。当該止め金を交換。	2022/04/27	
5	5号機	大湊側焼却設備の現場を確認していたところ、床面に油溜まり(約160cc)を発見した。拭き取り実施済みおよび受けパン設置済み。調査の結果、スクリークボックス注油プラグ付近に潤滑油の漏えいを確認した。当該ギアボックスを点検・修理。	2022/04/21	
6	その他	荒浜側焼却設備無停電電源装置に、地絡警報の発生を確認した。調査の結果、すべての負荷設備に異常はなく、地絡過電流継電器の誤動作と推定。当該事象の原因を調査し、点検・修理。	2022/04/25	

## 核物質防護に関する不適合情報

2022年4月26日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。  
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niiigata\\_hq/data/pp/pdf/policy.pdf](https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf)

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	核物質防護上の扉が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該門扉を封鎖するとともに、他の扉での出入りを行った。	2022/3/23	



# 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(2022年5月)

2022年5月12日

## ① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
1号機 110万kW (1985.9.18運開)	停止中 第16回定期検査中 定検停止期間:2011.8.6~	第15回 2007.5.4 ~ 2010.8.4 停止期間 2007.5.4 ~ 2010.6.6 (1130日) (原子炉起動2010.5.31)	第16回定検による停止												<燃料の管理> ○ 燃料は、現在、1~7号機の使用済燃料プールで保管し、安定冷却を継続中。 ○ プール水温は、管理上の上限値(65℃)を超えないように管理しており、仮に冷却が停止したとしても、4日以上は管理上の上限値に達しないものと評価しています。
2号機 110万kW (1990.9.28運開)	停止中 第12回定期検査中 定検停止期間:2007.2.19~	第11回 2005.9.3 ~ 2006.5.9 停止期間 2005.9.3 ~ 2005.12.25 (114日) (原子炉起動2005.12.22)	第12回定検による停止												
3号機 110万kW (1993.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2007.9.19~	第9回 2006.5.12 ~ 2006.9.15 停止期間 2006.5.12 ~ 2006.7.27 (77日) (原子炉起動2006.7.24)	第10回定検による停止												
4号機 110万kW (1994.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2008.2.11~	第9回 2006.4.9 ~ 2007.1.11 停止期間 2006.4.9 ~ 2006.12.14 (250日) (原子炉起動2006.12.11)	第10回定検による停止												
5号機 110万kW (1990.4.10運開)	停止中 第13回定期検査中 定検停止期間:2012.1.25~	第12回 2006.11.24 ~ 2011.2.18 停止期間 2006.11.24 ~ 2010.11.25 (1463日) (原子炉起動2010.11.18)	第13回定検による停止												
6号機 135.6万kW (1996.11.7運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2012.3.26~	第9回 2010.10.31 ~ 2011.3.9 停止期間 2010.10.31 ~ 2011.1.26 (88日) (原子炉起動2011.1.23)	第10回定検による停止												
7号機 135.6万kW (1997.7.2運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2011.8.23~	第9回 2010.4.18 ~ 2010.7.23 停止期間 2010.4.18 ~ 2010.6.28 (72日) (原子炉起動2010.6.26)	第10回定検による停止												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

## ② 発電所設備利用率(%) (4月末現在)

4月	0.0%
2022年度累計	0.0%
運転開始後累計	41.5%

## ③ 発電所発電電力量(万kWh) (4月末現在)

4月	0
2022年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

## ④ ドラム缶発生量(本) (4月末現在)

当月発生本数	77
貯蔵庫累積貯蔵本数	29,969
貯蔵庫保管容量	45,000

## ⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (2021年度第4四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,734
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

## ⑥ 従業員登録データ(人) (4月1日現在) ※3

		東京電力	協力企業	比率※1
県内	柏崎市	839	2,257	57%
	刈羽村	72	238	6%
	その他	140	944	20%
	小計	1,051	3,439	82%
県外		128	851	18%
合計		1,179	4,290※2	-
		5,469		100%
協力企業社数(社)		674		

※1 端数処理のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※2 参考: 4月1日の協力企業構内入構者数3,017人

※3 5月1日現在のデータについては、集計中のため、後日ホームページに掲載予定

## ⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
5月26日	定例所長会見(予定)
6月9日	定例記者説明会(予定)
6月24日、25日	映画観賞会(柏崎市産業文化会館)

## ⑦ 来客情報(人) (4月末現在)

	4月	年度累計
地元	1,011	1,011
県内	559	559
県外	276	276
国外	1	1
合計	1,847	1,847

インターネットホームページアドレス

[https://www.tepco.co.jp/niiigata\\_hq/kk-np/index-j.html](https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/kk-np/index-j.html)

東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所  
広報部  
0257-45-3131(代)